

日本バウハウス協会
講演 (対面+オンライン)
渋谷区文化総合センター大和田
学習室 6
2025 年 12 月 2 日 (火)
18:30-20:00

沢 良子

「日本版バウハウス」 と そこに関わった人びと

勝見勝が「日本版バウハウス」と喻えた桑沢デザイン研究所。
1954 年 6 月にヴァルター・グロピウスが研究所を訪問した
エピソードをはじめとして、日本の戦後デザインとバウハウスの
関係について講演します。



講師 沢 良子 (さわ りょうこ)

早稲田大学大学院文学研究科芸術学 (美術史) 博士課程を単位取得退学、文学修士。

専門はブルーノ・タウトを中心に 1920~30 年代ドイツ及び日本の建築史、デザイン史。

主著:『タウトが撮った日本』(2007 年、武蔵野美術大学出版局)、『ふつうをつくる-暮らしのデザイナー 桑沢洋子の物語』(2018 年、美術出版社)、『図説精読 日本美の再発見』(2019 年、岩波書店) など。

元東京造形大学副学長、日本民藝館理事。現在、日本高等教育評価機構副理事長。

主催 日本バウハウス協会 (お問い合わせ)

<http://nipponbauhaus.jp>

講演は無料 (Zoom)

講演申し込みは 2 次元コードまたは下記 URL

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_fGaokC4bSHeMOX3x7MvRtQ

